

台風はどこまででも狂暴化する



上陸直前の中心気圧が955hPaの令和元年東日本台風は、40年ぶりに死者・行方不明者100人を超えた

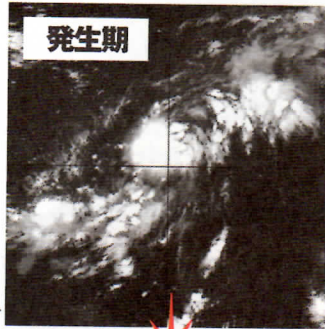
**温暖化が続けば
限界なく狂暴化**

「今後、温暖化が進んでいくことで台風のさらなる狂暴化が懸念されています」

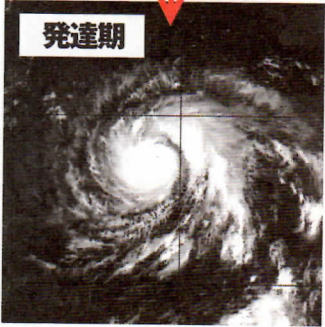
こう語る前出の古川氏によると、その理由は、海面水温の上昇だ

という。「温暖化の影響は大きく、大気だけでなく水深数kmまでの海水をも温めているほどです。海面の水温が上昇すると、海上の大気中に含まれる水蒸気の量は増加します。」

台風を車のエンジンにたとえると、水蒸気がガソリンに当たりま



発生期



発達期

海からの水蒸気を吸収し、台風



増えるほど、台風は衰えずに大きく強く成長し、その限界はありません。ハイオクガソリンが注ぎ込まれるのと同じように、より強大な力になるのです」

一般に、中心気圧が低いほど台風は狂暴化する。伊勢湾台風は上陸時に929hPaだった。今後、中心気圧が過去に最も低かった925hPaを更新する台風が日本を襲う可能性は十分にある。

過去70年ほどで上陸数が最も多い都道府県は鹿児島県

順位	県名	上陸数
1	鹿児島県	42
2	高知県	26
3	和歌山県	24
4	静岡県	21
5	長崎県	17
6	宮崎県	14
7	愛知県	12
8	千葉県	9
9	熊本県	8
10	徳島県	7

※統計期間は1951年～2022年第2号まで(気象庁HPより)

台風が最も上陸する都道府県は？

日本で台風が最も多く上陸する都道府県はどこか？ 沖縄県と答える人もいるかもしれないが、2位の高知県、3位の和歌山県を大きく離して、鹿児島県が1位である。

台風の中心部が島や半島を横切って、短時間のうちに海上へ出る場合は、「上陸」ではなく「通過」という表現が使われる。そこで、沖縄本島を直撃しても、「通過」したということになる。